

「研究名」

第 5 回滋賀県医師会糖尿病実態調査

1. 研究の対象

2024 年 10 月 1 日～11 月 30 日の期間に近江八幡市立総合医療センター・代謝内分泌内科外来を受診した糖尿病患者

2. 研究の背景・目的・方法・期間

〔背景〕

世界中で糖尿病人口が増加しており、特に我が国を含む東アジアでの増加が著しい。厚生労働省の「2020 年国民健康・栄養調査報告」によると、糖尿病が強く疑われる人は過去最多の 1,196 万人、糖尿病の可能性を否定できない「予備群」はやや減少しているが未だ 1,055 万人であることが明らかとなっています。

滋賀県医師会では 2000 年より 6 年毎に県内の診療所、病院に通院する糖尿病患者の実態調査を行っています。滋賀県は人口、経済活動など社会一般の各指標が我が国の平均であり、本調査はわが国の平均的な糖尿病の現況を把握するのに有意義であると考えられます。また本調査は専門医療機関だけでなく、非専門医である地域の小病院や診療所等をも含めた県内全医療機関を対象としている点で、国内でも希少な調査であり、わが国の糖尿病診療の実態を真に反映していると考えられます。

〔目的〕

わが国の平均的な糖尿病の現況を把握し、糖尿病診療の実態を明らかにします。

〔方法〕

2024 年 10 月 1 日～11 月 30 日の期間に受診した糖尿病患者について調査票を記入する。調査票を滋賀県医師会に提出し、電子データベース化を行う。滋賀県医師会糖尿病対策委員会により、分析作業を行い、調査結果をまとめる。調査結果は学術集会等で結果を公表します。

〔期間〕

2024 年承認日 - 2027 年 6 月

2024 年 10 月・11 月(調査期間) (集計、分析作業は 2027 年 6 月まで)

3. 研究に用いる資料・情報の種類

患者イニシャル、調査月、生年月日、性別、身長、体重、血圧、降圧剤治療の有無、糖尿病治療の内容、脂質異常症治療薬の有無、HbA1c、グリコアルブミン、総コレステロール、中性脂肪、HDL コレステロール、LDL コレステロール、クレアチニン、尿タンパク 尿アルブミン排泄量測定(過去 1 年間)の有無、尿アルブミン排泄量、眼底検査(過去 1 年間)の有無、糖尿病網膜症(過去 1 年間)の有無、歯科受診(過去 1 年間)の有無、喫煙の有無、癌治療歴の有無

4. 個人情報の取扱いについて

患者さんの氏名および ID は記載せず、個人を特定できないようにします。この研究で得られた情報は研究責任者 卯木 智の責任の下、厳重な管理を行い、患者さんの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

5. 外部への試料・情報の提供

本研究の結果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

研究結果および報告内容に関しては、仮名化し個人情報に特定できないよう配慮し、今回の研究目的以外に使用することはありません。

6. 研究組織

研究責任者

近江八幡市立総合医療センター 代謝・内分泌内科 卯木 智

研究担当者

近江八幡市立総合医療センター 代謝・内分泌内科 小林大地、川上夏美

7. お問い合わせについて

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書等の資料を入手・閲覧することが出来ます。

また、本研究対象に該当するかたで、本調査へのご了承が得られない場合（診療録を見られたくないなど）は、その求めに応じて対象者の方の試料・情報を本研究に利用（又は他の研究に提供）することについて停止することができます。停止を求められる場合には、下記の連絡先までお申し出ください。なお、了承の有無にかかわらず、患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究に了承いただけない場合の連絡先】

近江八幡市立総合医療センター 代謝・内分泌内科

卯木 智（研究責任者）

〒523-0082 滋賀県近江八幡市土田町 1379 番地

TELL 0748-33-3151